

令和3年 熱海土砂災害への中部地整の対応 (7/7 8:00 現在)

<主な活動状況>

■TEC-FORCE (括弧は現在の班数)

- 総括班(1): 現地調査班への情報支援、各班ロジ調整
- ドローン調査班(1): 源頭部、中流部、新規崩壊危険箇所の調査(ドローン)
- 砂防調査班(2): 源頭部、中流部の調査(ドローン)
- 道路調査班(2): 被災状況調査
- 港湾調査班(1): 海上調査(ドローン)
- 応急対策班(建設機械)(1): 照明車の稼働
- 応急対策班(情報通信)(1): Car-SATによる現地調査及び映像配信
- リエゾン班(1): 静岡県庁、熱海市役所で情報連絡

<中部地整の対応状況>

1. 中部地方整備局の体制

中部地方整備局 7月3日 14:00 非常体制(風水害)

2. TEC-FORCEの派遣状況 合計35名(7月7日8時時点)

TEC班名(派遣所属)	隊員数(人)
総括班(本局)	4
ドローン調査班(本局、豊橋)	4
砂防調査班(多治見、越美、富士砂防)	8
港湾調査班(本局、名古屋技調)	3
道路調査班(本局)	6
応急対策班(建設機械)(木曾下流、新丸)	2
応急対策班(情報通信)(本局、名国)	2
リエゾン(本局)	6
合計	35

7月6日(火)の活動状況

・総括班

各班との調整(ドローン撮影、照明車配備、監視カメラの設置、砂防調査関係等)

・ドローン調査班

ドローンによる源頭部、国道135号線の逢初橋付近の調査

・砂防調査班

多治見+越美班: 監視カメラ設置立会(中流部右岸、国道135号線)

富士砂防班: ドローンによる新規崩壊危険箇所付近の調査、熱海土木事務所で情報収集

・建設機械班

引継ぎ

・情報通信班

衛星通信車を源頭部へ配置

- ・ **港湾調査班**

 - ドローンによる被災状況及び海面の浮遊物調査による海面の浮遊物調査

7月7日（水）の活動予定

- ・ **総括班**

 - 各班との調整（ドローン撮影、照明車配備、砂防調査関係等）、マスコミ対応（テレビ東京テック密着取材）

- ・ **ドローン調査班**

 - ドローンによる源頭部の調査を実施

- ・ **砂防調査班**

 - 多治見＋越美班：webカメラの静岡県への引継ぎ、調査結果の取りまとめ

 - 富士砂防班：調査結果の取りまとめ

- ・ **道路調査班**

 - 被災地周辺（熱海市内）の道路の通行止め状況を確認

- ・ **応急対策班（建設機械）**

 - 熱海土木事務所で内業

- ・ **応急対策班（情報通信）**

 - Car-SATにて本局出発（AM）

- ・ **港湾調査班**

 - ドローンによる被災状況及び海面の浮遊物調査、災害廃棄物の仮置状況の確認を開始

以上